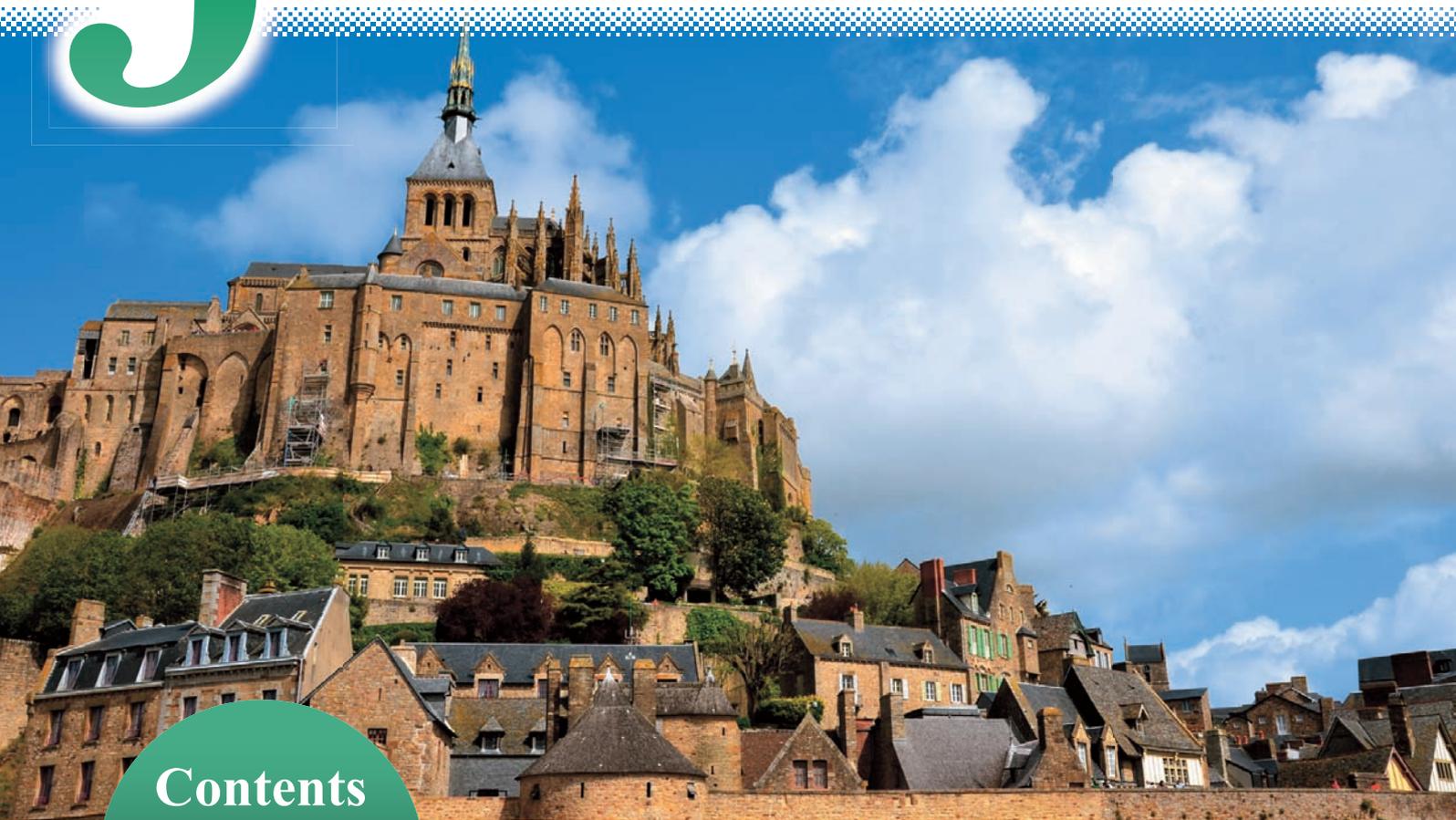


# JAPIC

JAPIC  
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

# NEWS



## Contents

### 巻頭言

「偶然という神」 一般財団法人 日本医薬情報センター 会長 首藤 紘一 ..... 2

### インフォメーション

1月末発売!

「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2015年1月版」..... 4

「JAPIC OTC医薬品CD-ROM 2015年1月版」..... 4

日本製薬工業協会 書籍の取り扱いについて ..... 4

### トピックス

「第141回薬事研究会」..... 5

JAPICサービスの紹介

生物由来製品の感染症情報提供サービス ..... 6

院内採用医薬品集作成システムJAPIC PIA(ジャビック ピア) ..... 8

### コラム

最近の話題「チーム医療における情報技術の役割 —東京医療保健大学での医療情報教育—  
東京医療保健大学 医療保健学部 准教授 深澤 弘美..... 10

くすりの散歩道 No.83「人の心理がつくりだす世界」  
(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当 森崎 裕哉..... 12

おすすめの一冊「2014年に受け入れた医薬品集・薬局方の一覧」..... 13

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋)..... 14

図書館だよりNo.295 情報提供一覧 ..... 15

### 今月の表紙

モン・サン=ミシェル  
(フランス)

# 1

2015 | No.369

## 偶然という神

一般財団法人 日本医薬情報センター 会長  
首藤 紘一 (Shudo Koichi)

偶然とはいろいろな意味や使い方があるようだ。起きえないことが起こった、宝くじ一等に当たった、合格するはずのない試験に合格した、スカイツリー展望台で久しぶりに友人と出会う、そのあと降りてきたら、また別の友人と出会った、山歩きで大きな松茸を見つけた、事故に遭った、その場に居合わせた、さらに、私が今ここにいる、君がここにいる、などなどに対して偶然という言葉を使っておかしくない。偶然に対して、必然は対応する言葉のように思えるが、必然にもいろいろな場合があるようで、成行き必然、新幹線が時刻通りに運行する必然、計算機を駆使しての競馬賞金の大幅増、当たり前のこと、予想通りの事、予期されなかったわけではない御嶽山の噴火や今後起こりうる大きな関東直下型地震などは、何時起きるかわからないが、起きることは必然といってもいい自然現象である。しかし、屋根から瓦が落ちてきて重傷を負うという偶然、その瓦が目前に落ちてきたが運よくけがをしなかった偶然、行き過ぎ去ったすぐ背後に落ちたという偶然（これには気も付かないこともある）。ふつうの事。何事も偶然。だから、偶然も必然。しかし、「必ず起きる」本当の必然は数学とか物理計算、それも計算上でしかないかもしれない。

最たる偶然の結果はこの地球と生命である。天体は銀河の星だけでも、何千億からなるという。その輝く星のほかには、地球の様な惑星もたくさんある。大きさや

温度、組成を推察すると、地球型の天体でも、100億あるという。だから、この宇宙には地球の生命と似ている生命、あるいは、似ても似つかない原理で構成され、世代交代が起き進化し、文化を築いている生命（鉱物に命を吹きこんだような生命を想像するのも面白い。）があってもおかしくない。この地球という星に数億年かけて有機化合物が生成し、それに情報伝達や保存というファンクションを与えられて、最初の生命が誕生し、そこから40億年かけて今がある。この間は連続して偶然が繰り返し、前進と同じくらい後退し、この今がある。そして、ヒトがサルと分化してから数十万年、現在の人（ホモサピエンス）となってから3万年ほどで、特にこの1万年で、ヒトはさらに進化が加速したようにみえる。

サルはあまり進化していない。何故だろう。進化は突然変異によって起きる。それは偶然に起きる化学変化に基づいている。ヒトは何万年前から道具を使い、火を使うようになった。そのため、炭水化物もタンパク質も加熱によって、驚くほど多くの種類の強い変異原物質（遺伝子の突然変異を引き起こす化合物）を人工的に生成させている。自然界で起きる不可避的な熱力学的に起きるDNA複製ミス、天然放射線や天然毒物などによる突然変異の頻度に加えて、火を使うようになった人の世にあって、煙を浴び、毎日、調理したものを食べるから、突然変異は大幅に増えたのではなかろうか。これは癌の発

生類度を高めるだろうが、ヒトの進化（脳の発達とともに、身体機能や運動能力などの退化も）に、良くも悪くも、大きく寄与しているのではないかと思っている（これは私の30年来の感想だが）。

地球の生命体はおそらく考えられないほど稀な宇宙で唯一の出来事として考えていだろう。地球が消滅すればこの生命体はなくなってしまう。どこかに移住させておきたいものだ。この大切な生命、そして、異常に進化したヒトは貴重この上ないが、ヒトは無理でも、せめてバクテリアだけでも太陽系外のどこかに保存したい。それでも大変である。惑星探査機（ニューホライズン）の速度が16km（対地）/秒で冥王星まで10年もかかり、太陽系を離脱するには相当な時間がかかる。隕石の速度がせいぜい30km/秒ということだから、光速の10000分の1である。隕石の速度で、太陽系外の地球型の星に飛んでいくとしても、時間がかかりすぎ、結果を検証することはかなわない。しかし、何十万年かかろうとも、地球生命の移転先をさがすことは、意味のあることに思えなくもない。その地で生命が生命としてやっていけるかどうかは、考えるだけでも難しさがあるのだが。

最初の地球の生命体がどのような偶然で生じたかはわからないが、だからといって、最初の生命体が宇宙のどこかからやってきたとの考えは、要する時間からみて可能性は小さい。たとえ、そのようなことを考えても、その天体でどうして生命体ができただかを考えねばならないから、不思議さは変わらない。はやぶさ2号が「生命の起源を探る」といって旅立ったが、それがどこであろうと生命の誕生は奇跡的なのだ。だからといって、神が作ったというとする、この神はあまりに頭が悪く、世界を少しも見通せないボンクラであり、いい加減である。神がいるとする、偶然すなわち「デタラメの神」である。生命の進化も含めてこの世は偶然で成り立っていると考えるべきである。

さて、話を戻して、偶然と必然とはなんだろうか。瓦の例のように、偶然も必然も自己にかかわらなければ必然でも偶然でもない。普通のことではない。自己がかかわる稀にしかないと人は偶然と思う。しかし、その偶然は立場や自己の都合での運か不運か、なんでもないと感じ方や受け取り次第であり、この大小、無数の偶然が連続して起きていて、重なって、それが必然のように見える。偶然が明らかに原因であるように見える時でも、その結果が決まっているように見える場合でも、少なくとも厳密には決まっていない。起こり様がちがう。再現もできない。広い海原は、波がないように見える時も、さざ波とうねりや大波もある。風でも、さざ波でも人生を変えるような瞬間になることもあり、大波をかぶっても平然として生きていられることもある。もし仮に、波が風や温度や地球の回転およびその他の要因により物理的に精密に計算できるとしても、不確定性原理や揺らぎの原理が働き、正しく確定はできない。この波と、さらに不確定性の一層激しいヒト（や他の生物：計算などできない膨大で複雑なシステム）との相互作用は、どんなことでも、偶然としての接触と見る以外の見方はできない。波も様々、ヒトも様々、そして相互作用も様々。このような中であって、この世界があるという現実、実際にあるので必然といっているものだが、それは偶然の産物なのだ。

偶然で生命が存在し、偶然でヒトがいる。そして、変化し進化する。「人は考える葦である」というように、ヒトは想像をすることができ、芸術や文学をたしなみ、科学して、技術を生み出し、情報を保存し喧嘩もするが協力もして、さらに自らが創り出した新目的に向かって努力をするという不思議が備わった生物なのだ。有難い存在なのだ。

## 1月末発売!

### 「JAPIC医療用・一般用医薬品集インストール版2015年1月版」

- ◇医療用および一般用医薬品の添付文書情報を収録したWindows対応CD-ROM。  
(医療用は2015年1月、一般用は2014年12月までのJAPIC入手分)
- ◇製品情報、医薬品集本文データの検索・表示・印刷・データ出力が可能。  
データ出力形式:タブ区切り/カンマ区切りテキスト(csv)
- ◇薬価、先発品等/後発品情報、規制区分、剤形、薬剤識別コード情報、  
添加物なども収録し、さまざまな角度から検索できます。
- ◇完全インストール仕様により、スピーディな検索・結果表示を実現!
- ◇単品¥14,287(+税)。年間セット4枚(1月・4月・7月・10月) ¥23,806(+税)。



### 「JAPIC OTC医薬品CD-ROM 2015年1月版」

- ◇一般用医薬品(一部の医薬部外品含む)の添付文書記載情報(2014年12月までのJAPIC入手分)を収録したWindows対応CD-ROM。
- ◇「要指導医薬品」(スイッチ直後品目・劇薬等)も掲載しております。
- ◇検索項目は、成分名、添加物、リスク区分や小児に使える医薬品等。
- ◇インターネット経由で、添付文書PDFの表示も可能です。
- ◇JANコードによる製品直接表示機能も搭載。
- ◇¥3,000(+税)/単回。



[お問合せ先] 事務局 業務・渉外担当 (TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

## 日本製薬工業協会 書籍の取り扱いについて

この度、日本製薬工業協会(製薬協)の各委員会の編集による書籍の一部につきまして、JAPICが出版と販売を担当させていただきますこととなりました。

本年1月6日(火)からJAPICホームページ内の「製薬協 書籍の購入申込み」サイトにてご注文を承りますのでご利用下さい。また、直接JAPICにお越しいただき、ご購入いただくことも可能です。

なお、製薬協会員の方には、引き続き製薬協会員価格にてご提供させていただきます。

今後とも変わらぬご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

## 「第141回薬事研究会」

平成26年12月2日（火）に日本薬学会長井記念ホールにおいて、第141回薬事研究会を開催いたしました。

平成26年11月25日に施行された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（略称：医薬品医療機器等法）」について医療機器、医薬品関係及び再生医療等製品関連の3つのテーマについて各先生からご講演いただきました。

最初に「改正薬事法の施行について」と題して磯部総一郎先生（厚生労働省大臣官房参事官 医療機器・再生医療等製品審査管理担当参事官室）から法改正の経緯と概要、医療機器等に係る安全対策の強化、製造業の登録制、承認/認証審査、医療機器プログラム、高度管理医療機器の認証基準、認証の承継制度、使用成績評価制度、QMS関係、コンビネーション製品、審査迅速化のための協働計画について関連通知の解説も交えながら解説していただきました。これまで医療機器については製造販売承認や製造許可など、医薬品とほぼ同様の規制がされていましたが、医療機器の特性（医療機器の保守管理、修理など）を踏まえた規制がされることになり、独立した章が設けられています。

2番目の講演として高橋千代美（日本医薬情報センター）より「改正薬事法の注目点（医薬品関係）」と題して薬事法の変遷の解説後、医薬品関連を中心に旧薬事法との項目の違いを比較しているスライドを用い、また、施行規則などについても処方箋医薬品再委託、添付文書の届出制などのポイントをわかり易く解説いただきました。この説明資料は医薬品医療機器等法の医薬品関係における変更点について新旧対応表も

あり、お手元においてご参考いただける資料になるのではないかと思います。

最後に「再生医療等製品の動向と改正薬事法」と題して鈴木和博先生（国立医薬品食品衛生研究所）よりご講演いただきました。再生医療とは、という基本的な説明、現在の動向、iPS細胞由来網膜色素上皮シートの臨床応用、再生医療の安全確保のための考え方などについてお話していただきました。再生医療等製品には大きな期待が寄せられていますが、生きている細胞である事から発がん性などの懸念があり、安全性の規制の考え方は従来の医薬品規制とは大きく異なっています。安全性を確認するために「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」が制定され、「医薬品医療機器等法」との2つの法律で規制の体系が成り立っています。



「改正薬事法の注目点（医薬品関係）」、「再生医療等製品の動向と改正薬事法」についてはそれぞれ JAPIC NEWS 2月号、3月号で講演の内容をお届けする予定です。

# ❖ JAPICサービスの紹介 ❖

## ■ 生物由来製品の感染症情報提供サービス

### ・背景

改正薬事法（平成14年7月公布、平成15年7月施行）により、特定生物由来製品・生物由来製品に関する感染症定期報告の義務化を受け、「生物由来製品の感染症定期報告制度」に伴う情報提供を行うサービスとして、「JAPIC-Q Plus」、「JAPIC Daily Mail Plus」、「PubMed代行検索」を平成15年7月30日より開始しました。

### ・感染症情報提供サービスの種類

「JAPIC-Q Plus」、「JAPIC Daily Mail Plus」、「PubMed代行検索」の概要を下記の表にまとめました。

名称	JAPIC-Q Plus	JAPIC Daily Mail Plus	PubMed代行検索
収集対象	特定生物由来製品の由来となる生物、原材料、原料又は材料による感染症、人獣共通感染症など		
情報源	当局から目安として提示された「文献・学会リスト」記載の国内発行の雑誌（23誌）および国内開催学会（21学会）	WHO、OIE、EU、各国機関（米、英、カナダ、独、豪、スウェーデン、日本など）のホームページ約50サイトからの情報およびJAPIC Daily Mailで提供した感染症関連情報	PubMed掲載雑誌（当局から目安として提示された「雑誌リスト」の範囲を含む）
提供内容	ご登録の動物種（ウシ、ブタ、ヒツジ等）ごとに検索した結果	日本語の概要、キーワード（感染症、動物種）、該当文書へのリンクなど	ご登録の動物種（ウシ、ブタ、ヒツジ等）または医薬品ごとに検索した結果および検索式
提供方法	紙媒体またはCD-ROMまたはe-mail	電子メール（Excelファイル）	電子メール（csv、txt、htmlファイル）
提供頻度	月1回（第1水曜日）	週1回（毎週月曜日）	月2回（第1、第3水曜日）

\*収集範囲とするヒトにおける重大な感染症および人獣共通感染症は随時更新・追加しています。

## ・各サービスご利用のメリット

### <JAPIC-Q Plus>

- ・国内発行の雑誌と国内開催学会から生物由来製品による感染症の情報を、予めご登録いただいた動物種（ウシ、ブタ、ヒツジ等）ごとに検索し、その結果を月1回提供します。
- ・情報源となる国内発行雑誌（23誌）と国内開催学会（21学会）は厚生労働省から目安として提示されたものです。
- ・動物種を登録することにより、感染症情報を定期的に入手でき、収集労力と費用の節減ができます。

### <JAPIC Daily Mail Plus>

- ・有用な感染症情報が掲載される、WHO、OIE、EUや各国機関のホームページの生物由来製品・感染症関連情報をまとめて収集できます。
- ・上記のサイトに加え、JAPIC Daily Mailでお知らせする外国規制当局による医薬品等の安全性に関する措置情報からも、生物由来製品における措置情報（感染症に関するもの）を抜き出し、週1回まとめてお知らせしています。
- ・エクセルファイルでの提供となりますので、オートフィルタ機能を使用し必要な動物種での絞り込みができます。
- ・多人数でのご利用を希望される場合は、社内転送用のご登録を受け付けています。（有料）

### <PubMed代行検索>

- ・PubMedに収載される膨大な論文の中から感染症分野に特定し、動物種または医薬品ごとに情報収集できます。
- ・過去4ヵ月分を遡って検索することで、検索漏れを防ぎます。

\*お問合せ、ご質問等は事務局業務・渉外担当（TEL：03-5466-1812、E-mail：gyoumu@japic.or.jp）までご連絡ください。

# ❖ JAPICサービスの紹介 ❖

## ■ 院内採用医薬品集作成システムJAPIC PIA (ジャピック ピア)

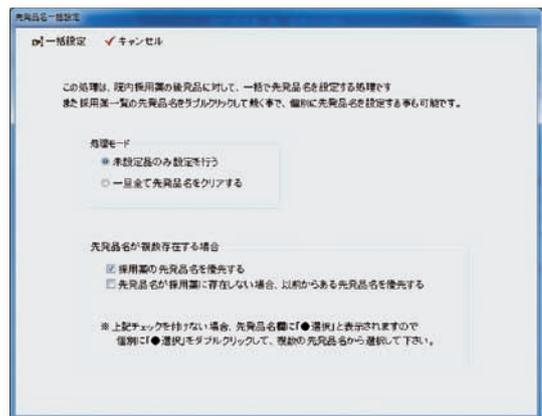
本システムは、院内医薬品集、採用薬一覧をMS Wordを利用して低コストで簡単に作成できるシステムとして、医療機関に提供しております。YJコード、JANコードから採用薬を一括登録し、短時間で医薬品集作成が可能です。今回は、新機能として、「後発品の採用医薬品に先発品名称を追加表示する機能」をご紹介します。

### 先発品名称追加機能

昨今の後発品使用促進に伴い、院内採用薬を後発品に切り替えたユーザー様から、切り替え前の先発品名を知りたいというご要望がありました。そんなユーザー様のために、後発品に対応する先発品名称を設定する機能を新たに搭載しました。

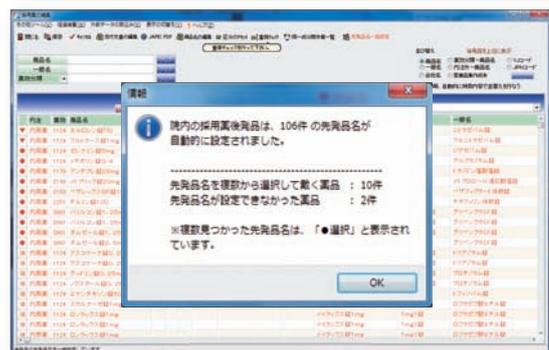
#### 1. 一括設定機能

薬価収載コードを元に、お客様が設定している採用薬に、先発品相当の名称を一括で自動設定します。



#### 2. 自動設定結果

自動設定結果は、採用薬の編集画面でまとめて確認できます。



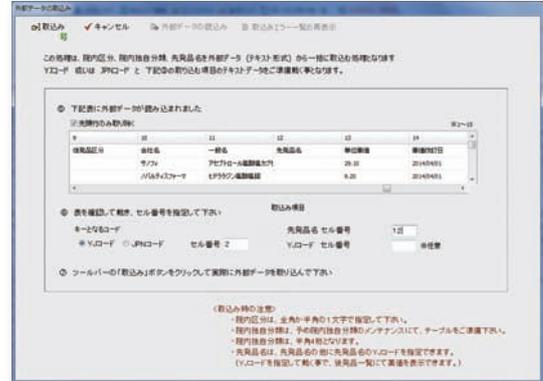
#### 3. 個別設定の画面

自動設定した内容を個別に確認できます。複数存在する場合、別の先発品を再度選択したり、直接先発品名を編集する事も可能です。



#### 4. 外部データの取込み

外部の後発、先発リストを取り込んだり、PIA内で編集した内容をExcel・CSVデータ出力して外部で編集したデータを再度取込むこともできます。



#### 5. 先発品名称の反映

設定した内容は、各種出力に反映されます。

医薬品集

<p>■アスコマーナ錠0.25(日新製薬一山形)【内用薬】 (般)トリアゾラム錠 (先)ハルシオン0.25mg錠</p> <p style="text-align: right;">【後発品】向習処 高婦子</p> <p><b>【効能効果】</b> 1 不眠症 2 麻酔前投薬]</p> <p><b>【用法用量】</b> 1 不眠症:通常成人には1回トリアゾラムとして0.25mgを就寝前に経口投与する。高度な不眠症には0.5mgを投与することができる。なお、年齢・症状・疾患などを考慮して適宜増減するが、高齢者には1回0.125mg~0.25mgまでとする。 2 麻酔前投薬:</p>	<p>1 本剤に び健忘等 (1回0.125mg) 頻索を し、症状 2 不眠症 患者が 合、又は おいて を開始す</p> <p>■エマ (般)ト (先)グ</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

後発一覧リスト

商品名		収数	一般名	先発品名	収数
後	アトリジン錠1mg 1mg1錠	5.6	ピペリジン塩酸塩錠	アキネトン錠1mg	5.6
後	アクティームシロップ0.5% 0.5%1mL	6.2	リゾチーム塩酸塩シロップ	レフトーゼシロップ0.5%	6.6
後	アシロミン錠200 200mg1錠	89.9	アックロピル錠	ゾピラックス錠200	239.1
後	アスコマーナ錠0.25 0.25 5mg1錠	5.8	トリアゾラム錠	ハルシオン0.25mg錠	14.7
後	アスコマーナ錠0.25 0.25		トリアゾラム錠	ハルシオン0.25mg錠	

Webページの作成

### 新機能対応バージョンにつきまして

新機能対応のVer3.00.0001は、従来のWindows Vista以降、MS Word 2007以降で利用できます。現バージョンは引き続きご利用いただけます。

#### 【お問合せ・資料請求】

事務局 業務・渉外担当 TEL: 0120-181-276 E-mail: gyomu@japic.or.jp

☆30日間無料お試し版CD-ROMを提供していますので、実際に医薬品集や様々な帳票の出力をお試し後、導入をご検討いただけます。  
(<http://www.japic.or.jp/service/cd/japicpia.html>)

# 最近の話題

## チーム医療における情報技術の役割 — 東京医療保健大学での医療情報教育 —

東京医療保健大学 医療保健学部 准教授  
深澤 弘美 (Fukasawa Hiromi)



東京医療保健大学は、医療保健学部と東が丘・立川看護学部の2学部を有する医療系の4年制大学で、2005年の開学より「看護」「医療栄養」「医療情報」の協働をめざし、21世紀が求める医療人の育成を目指しています。2007年、2009年には大学院修士課程、博士課程が設置され、学部学生だけではなく、高い志を持った社会人学生も多く集い、切磋琢磨して勉強をしています。21世紀の医療人には、それぞれの専門で知識や技能を高めるだけではなく、多職種と協働し、チームで働く力が求められ、医師、看護師、管理栄養士などの施設内の専門職が連携したり、補完しあうことと同時に、ネットワーク技術を活用した情報連携も必要になってきています。本稿では本学医療保健学部で行っているチーム医療を目指した共通カリキュラム、および医療分野のIT化を担う情報の専門家を養成する医療情報学科のカリキュラムをご紹介します。

### 医療保健学部共通カリキュラム

医療保健学部では下表に示す学科横断で学ぶ「医療のコラボレーション教育」を導入しています。医療現場でチームケアを実践できる、現場に強い人材を育成していくためのカリキュラムで、多職種と協働を実現できる人材の育成を目指しています。

医療のコラボレーション教育科目	
1年	体の仕組みと働きⅠ・Ⅱ
	栄養学総論
	キャリア教育Ⅰ
	医学・医療概論
	臨床薬理学
2年	ボランティア論
	公衆衛生学
	医療安全管理学
	臨床工学
	危機管理学
	感染制御学
3年	キャリア教育Ⅱ
	医療マネジメント論
4年	キャリア教育Ⅲ
	協働実践演習

「体の仕組みと働き」では、血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器、骨格、筋、神経、内分泌、感覚器について学びます。「協働実践演習」では、疾病治療や健康づくりのための



地域住民の援助などについて3学科の学生混合で行うプロジェクト型の授業です。各学科の学生が、それぞれの専門の立場で意見を出し合い問題を解決します。学科の枠を超えた協働の精神を養うことが目的です。

### 医療情報学科のカリキュラム

医療情報学科では、「臨床医学基礎」と「医療管理学」等の科目で各専門診療科における治療行為の実際と病院の管理・運営、「情報基礎」「情報応用」「関連情報科学」等の科目で情報処理と情報システムに関する専門知識を学び、医療と情報の両方に精通し、電子カルテの普及など医療の情報化が進む現代の医療現場や医療業界で、即戦力となる人材の育成を目指しています。医療情報の専門家は、単にITのリテラシーを身に付けているだけではなく、高い倫理観をもって、患者さんのデータを正しく、安全に扱うことのできる人でなければなりません。また、多職種を繋ぐ重要な役割として高いコミュニケーション能力も求められます。医療情報学科では、1年次に「生体情報演習」などの科目で保健医療の基礎を学び、1年後半から2年にかけて「臨床医学各論」で臨床医学の基礎を学びます。3年次には病院や企業での実

習を行います。また、情報系の科目としては「データサイエンス」「データベース論」などの科目でデータを管理し、正確に評価・分析する手法、またネットワークやセキュリティなどの情報技術についても2年次以降に学習し、4年間で電子カルテなどのWebシステムの開発が可能な力をつけることが目標です。医療と情報の2つの専門知識を習得することは、就職に向けて大きなアドバンテージとなります。卒業後の進路として、診療情報管理士として病院で診療録をはじめとする医療情報を管理する仕事、電子カルテなどの医療にかかわるシステム開発や、医療機器の販売の仕事に就くことを想定したカリキュラムとなっています。以下に代表的な科目を紹介します。

#### 生体情報演習 (1年後期科目)

医学・医療の基礎となる心電図、筋電図、脳波などの生体情報について、発生メカニズムや計測原理、生理学的意味付けを学ぶとともに、これらの計測実験と解析を実施し、新たな医療情報の活用についても考える科目です。座学だけでなく自らの実験データの解析を行い、生体情報の性質を深く理解することが目標です。

#### 臨床医学各論 (1年～2年)

病気の原因・症状・経過・予後・診断・治療に関する実践的な内容を学びます。感染症、寄生虫症、新生物、血液、代謝、内分泌、脳神経、感覚器、循環器、呼吸器、消化器、泌尿器、周産期、筋骨格など、医学の基礎知識を習得します。

#### データサイエンス (2年前期)

研究を計画し、データを収集・管理し、分析・考察し、結果を公表するために必要である適切な手続きを学ぶ科目です。統計的推定・検定の考え方、データを介して真理を探究するプロセスの理解と実践、統計的考察に基づいた主張や判断ができるようになることが目的です。授業では統計ソフトJMPを活用します。

#### データベース論 (2年後期)

データベース・システムの基本的モデルであるリレーショナル (関係) データベースの基礎を学ぶ科目です。データを表で捉えて、相互に関連性を持たせて効率よく大量のデータを管理する手法も学び、実際にデータベース・システムを開発します。マルチメディアデータベース、ネットワークにおける分散データベース、オブジェクト指向データベース、医療現場におけるデータベースの活用事例等についても理解を深めます。本学では、2年後期のデータベース論に続き、3年前期にはデータベース演習という科目を開講し、SQL言語を中心とした応用科目を展開しています。

#### 卒業後の進路

医療情報学科の卒業時の到達目標は、「医療情報の評価・分析を専門とする診療情報管理士」と「医療情報を専門とするシステムエンジニア (基本情報処理技術者)」の2つに大別することができます。医療に軸足を置いた学びと、情報に軸足を置いた学びの一方もしくは両方を選択することができます。卒業後の進路に合わせて必要な知識や資格を取得し、専門家として社会で活躍することを目指します。これまでの卒業生も、診療情報の精度管理と分析、病院経営情報の管理と分析、地域医療連携における情報の共有管理、治験データの収集と分析、医療情報システムの開発と運用、検査・診療・治療機器の開発・販売などの分野で活躍しています。

政府は、成長戦略の重要テーマとして、ICT等による合理化でさらに健康な日本を目指すことをあげています。医療保険者に対して健診情報等のデータの分析に基づく保健事業の実施を求めるなど、予防・健康管理分野でのICT利用を促進する取り組みを行っています。レセプトの電子化や特定健診制度の導入にともない、電子的に保有された健康医療情報を活用する試みが、各自治体で今後ますます進んでいくことが予想されます。医療情報を学んだ学生達が活躍する場合は、今後ますます広がるでしょう。専門的な知識や技術のみならず、高いコミュニケーション能力をもって活躍できる人材の育成を行っていきたいと思います。

また、本学ではアメリカで開発された最新式の患者ロボット「SimMan3G」を導入しました。このロボットは、呼吸をしたり、脈を打ったり、目が開いたり、まるで本物の人体のように動き、医学教育などに広く使われています。



患者さんの病態をプログラムで制御することができ、心音聴診、呼吸音聴診、心臓マッサージ、ECG、除細動などの患者ケアトレーニングが可能です。医療情報学科の学生は、患者さんに接する機会は少ないため、ロボットを用いて病態を学ぶことは重要と考えます。また、「アナフィラキシーショック」や「心停止を伴う狭心症」などの病状に合わせてバイタル情報を設定してロボットを制御する方法も学びます。医療情報学科では、本年度よりロボットを使ったシミュレーション教育を充実していく予定です。

## 人の心理がつくりだす世界

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当  
森崎 裕哉 (Morisaki Yuya)



精神と身体には密接な関係があるといわれています。日常生活でもいろいろな場面でそれを実感することがあります。子どもが遠足の前日に眠れなくなったり、学生なら大事な試験、社会人なら重要なプレゼンの前に緊張して汗をかいたりすることがあります。嫌なことや悲しいことが起こった後に食欲がなくなる人もいれば、逆に食欲が増す人もいます。医学に関わることでは代表的なものに白衣高血圧があります。

精神状態は病気の回復にも影響を及ぼすといわれています。私自身は幼少時、非常に体が弱く、しょっちゅう病院にかかっていたのですが、医師から問診を受け、診断をしてもらい、薬をもらってきただけでも、安心感によるものか薬を飲む前から幾分症状が和らいだような気がしていたものです。薬の治療効果も心理的要因によって影響を受けることがあり、プラセボ効果として知られています。

プラセボ効果は疼痛をはじめ、不眠症、吐き気、抑鬱などさまざまな症状に対して認められています。また、逆に服用後に副作用が出る可能性があるという説明を受けると、プラセボを使用した後でも説明を受けた副作用がみられることも報告されています。そのほか、実薬を使用した場合でも、実際の治療効果には、真の薬効にある程度プラセボ効果が追加されているともいわれています。

私は以前、薬剤師として働いていたことがありますが、副作用としてめまいが知られている薬を患者さんに説明する際に、情報を提供することは必要だが、過度に不安を煽らないよう十分に注意を払うよう医師から指示を受けたことがあります。今思い返してみると、説明の仕方によっては、患者さんが薬の副作用を恐れて薬を使用しなくなってしまう可能性があることはもちろんですが、実際に副作用が発現しやすくなってしまふのかもしれない。

プラセボ効果はある種の病気にあっても、別の

病気にはないこともあり、錠剤か、注射か、塗り薬か、薬が何色か、さらに薬の名前が何かでも効果への期待が異なるといわれています。また、国によってもプラセボ効果が異なるとされています。さらに、薬を渡すのが患者が信頼している医師であるか、患者にとって嫌な医師であるか、看護師であるかでも効果に差があるという報告もあります。もしそうならば、治療を受ける人の思考やそれまでの経験が治療に大きな影響を及ぼすことになります。

大きな視点でとらえてみると、例えば、ある治療が劇的に効くという情報が発信されれば、これまで気づかれていなかった効果に関する情報が検出されやすくなるだけでなく、上述のプラセボ効果により、実際に症状が改善しやすくなることも考えられます。通常の医療の現場で、どこまでがプラセボ効果で、どこまでが真の効果なのか区別するのは容易なことではなく、このことは副作用についても同じことが言えそうです。経済が人の心理によって変動するように、薬を取り巻く環境も人の心理によって大きな影響を受けているのかもしれない。現時点で人々の予想がつくりだしている世界と真実の世界にどれほどの違いがあるのか気になるところですが、医学の進歩とともに徐々に違いはなくなっていくことでしょう。

医薬情報に携わるものとして、情報が果たす役割の大きさを念頭に置きながら日々を過ごしていきたいと考えています。

### 参考文献

クリス・バーディック

『「期待」の科学』夏目大翻訳 2014年 阪急コミュニケーションズ

ハワード・ブローディ

『プラシーボの治癒力』伊藤はるみ翻訳 2004年 日本教文社

サイモン・シン エツァートエルンスト

『代替医療解剖』青木薫翻訳 2013年 新潮社

# おすすめの**一冊**

## JAPIC 所蔵の書籍のご紹介 ～海外の医薬品集編～

### ■ 「2014年に受け入れた医薬品集・薬局方の一覧

今回は趣向を変えて、2014年1月から12月の1年間に受け入れた海外の医薬品集・薬局方をまとめてご紹介したいと思います。「おすすめの1冊」で取り上げられなかった医薬品集・薬局方も多くございます。これらの図書は全てJAPIC附属図書館でご覧いただけますので、ぜひご活用ください。

#### ● 医薬品集

国名	書名
国際	Martindale: The Complete Drug Reference 38th ed.
アメリカ	AHFS Drug Information 2014
	American Drug Index 2015 59th ed.
	PDR for Nonprescription Drugs 2014 35th ed.
イギリス	British National Formulary No.68
インドネシア	MIMS Indonesia 128th ed. 2014
オーストリア	Austria-codex Fachinformation 2013/2014
カナダ	CPS: Compendium of Pharmaceuticals and Specialties 2014
シンガポール	MIMS Annual Singapore 25th ed. 2014/2015
スウェーデン	FASS 2014
タイ	MIMS Annual Thailand 26th ed. 2014
中国	MIMS 中国薬品手冊 第38版 第1冊 2014
ドイツ	Rote Liste 2014
ニュージーランド	MIMS New Ethicals JAN-JUN 2014 Issue 20
	MIMS New Ethicals JUL-DEC 2014 Issue 21
フィリピン	MIMS Annual Philippines 26th ed. 2014/2015
フランス	ViDAL 2014 Le Dictionnaire
ベトナム	ViDAL Vietnam 2013/2014

香港	MIMS Hong Kong 137th-138th ed. 2014
マレーシア	MIMS Malaysia 136th-138th ed. 2014
ミャンマー	MIMS Annual Myanmar 17th ed. 2013/2014
ロシア	ViDAL 2014: Справочник Видадь

#### ● 薬局方

国名	書名
EU	European Pharmacopoeia 8th ed. Supplement 8.2-8.4
イギリス	British Pharmacopoeia 2015
インド	Indian Pharmacopoeia 2014
ドイツ	Deutscher Arzneimittel-Codex Neues rezeptur-formularium
日本	Supplement II to The Japanese Pharmacopoeia 16th ed. (英語)



JAPIC 附属図書館は日本で最も多くの海外の医薬品集を収集している図書館です。一般公開ですので、どなたでもご利用いただけます。受付カウンターで入館手続きをお済ませの上、お入りください。(※貸し出しはいたしませんので、ご了承ください。)

開館日/時間：月～金 9:00～17:30

休館日：土・日・祝祭日、年末年始(12月29日～1月4日)

[お問合せ先] 図書館部門

TEL 03-5466-1827 E-mail: tosho@japic.or.jp

# 外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より — (抜粋)

2014年11月1日～11月30日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.477-480)の記事から抜粋

## ■米FDA

- MallinckrodtおよびKudco製造のMethylphenidate Hydrochloride徐放錠 (Concertaのジェネリック錠) : 米FDAは2つのConcertaのジェネリック錠 (methylphenidate hydrochloride徐放錠) について、治療上の同等性に関する懸念を表明  
<<http://www.fda.gov/Drugs/DrugSafety/ucm422568.htm>>
- 業界向けガイダンス (案) : OTCのacetaminophen (paracetamol) 含有医薬品と重篤な皮膚反応に関連したラベルの記述および推奨される警告  
<<http://www.fda.gov/downloads/Drugs/GuidanceComplianceRegulatoryInformation/Guidances/UCM424898.pdf>>

## ■米CDC

- コンタクトレンズ : 角膜炎の負荷の推定—米国, 2010年  
<[http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm6345a3.htm?s\\_cid=mm6345a3\\_w](http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm6345a3.htm?s_cid=mm6345a3_w)>

## ■Health Canada

- REMINYL ER (galantamine hydrobromide) に関連した重篤な皮膚反応のリスクに関する新たな安全性情報について  
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2014/42235a-eng.php>>
- IMOVANE(zopiclone) : 翌日の注意力低下リスクを最小化するための新用量に関する勧告  
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2014/42253a-eng.php>>
- STELARA (ustekinumab) : 稀で重篤な皮膚状態のリスクについて  
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2014/42613a-eng.php>>

## ■EU・EMA

- valproateおよび関連物質 (sodium valproate, valproic acid, valproate semisodium, valpromide) のArticle 31 referrals  
<[http://www.ema.europa.eu/docs/en\\_GB/document\\_library/Referrals\\_document/Valproate\\_and\\_related\\_substances\\_31/Recommendation\\_provided\\_by\\_Pharmacovigilance\\_Risk\\_Assessment\\_Committee/WC500177352.pdf](http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Referrals_document/Valproate_and_related_substances_31/Recommendation_provided_by_Pharmacovigilance_Risk_Assessment_Committee/WC500177352.pdf)>
- testosterone含有医薬品による心臓障害のリスク増加について—貫したエビデンスは存在しない  
<[http://www.ema.europa.eu/docs/en\\_GB/document\\_library/Referrals\\_document/Testosterone\\_31/Position\\_provided\\_by\\_CMDh/WC500177617.pdf](http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Referrals_document/Testosterone_31/Position_provided_by_CMDh/WC500177617.pdf)>
- ヒト用医薬品におけるphthalatesの賦形剤としての使用に関するガイドライン  
<[http://www.ema.europa.eu/docs/en\\_GB/document\\_library/Scientific\\_guideline/2014/11/WC500177736.pdf](http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Scientific_guideline/2014/11/WC500177736.pdf)>

## ■英MHRA

- Hospira UK Limited製造のmitoxantrone 2mg/mL注入用濃縮液のClass II回収について  
<<http://www.mhra.gov.uk/home/groups/is-md/documents/drugalert/con478809.pdf>>

## ■独BfArM

- levonorgestrel : 欧州委員会の決定の実行について  
<[http://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RV\\_STP/RV/RV-levonorgestrel-stp.html](http://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RV_STP/RV/RV-levonorgestrel-stp.html)>
- レニン・アンジオテンシン・(アルドステロン)系 (RAS/RAAS) 阻害剤 : 欧州委員会の決定の実行について  
<[http://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RV\\_STP/RV/RV-ras-stp.html](http://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RV_STP/RV/RV-ras-stp.html)>
- UCB Pharma GmbHのcodeine製品に関する情報 : リコール  
<<http://www.bfarm.de/SharedDocs/Risikoinformationen/Pharmakovigilanz/DE/RHB/2014/info-codein.html>>

## ■仏ANSM

- PSUR worksharing, domperidone含有医薬品 : CMDhの2014年10月会合からの情報  
<<http://ansm.sante.fr/S-informer/Travaux-de-l-Agence-Europeenne-des-Medicaments-EMA-Groupe-de-coordination-des-procedures-de-reconnaissance-mutuelle-et-decentralisees-CMDh/Medicaments-contenant-de-la-domperidone-PSUR-worksharing-presidence-du-CMDh-retour-sur-la-reunion-d-octobre-2014-du-CMDh-Point-d-Information>>
- ivabradine, codeineベースの医薬品, dimethyl fumarate, mycophenolate mofetil / mycophenolic acid, octocog alfa, Eligard (leuprorelin) : EMA・PRACの2014年11月会合からの情報を提供  
<<http://www.ansm.sante.fr/content/download/69753/889799/version/1/file/PI-PRAC+novembre-2014.pdf>>
- フランスにおける抗生物質の使用と抗生物質耐性 : 継続的で決然としたモビライゼーションの必要性  
<<http://www.ansm.sante.fr/S-informer/Actualite/Consommation-d-antibiotiques-et-resistance-aux-antibiotiques-en-France-necessite-d-une-mobilisation-determinee-et-durable-Communique>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報 (海外) 担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介 : <<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供を御希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

## 【新着資料案内 平成26年11月1日～平成26年11月30日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧頂けます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越し下さい。

〈 配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順 〉

書名	著編者	出版者	出版年月
MIMS Annual Philippines 26th Edition 2014/2015	Leong Wai Fun, et al. ed.	UBM Medica Asia Pte Ltd.	2014年
MIMS Annual Singapore 25th Edition 2014/2015	Ng Hui Ping ed.	UBM Medica Asia Pte Ltd.	2014年
American Drug Index 2015 59th ed.	Norman F. Billups	Clinical Drug Information	2014年
アナフィラキシーガイドライン	日本アレルギー学会 Anaphylaxis対策特別委員会	日本アレルギー学会	2014年11月
医療用医薬品 識別ハンドブック 2015	医薬情報研究所	じほう	2014年9月
学名でひく食薬区分リスト:健康食品・医薬品に区分される成分	佐竹元吉 監修/ 関田節子、 大濱宏文、池田秀子 著	薬事日報社	2014年9月
機能性ディスペプシア:日本人に適した診療を求めて	荒川哲男 監修/富永和作 編	フジメディカル出版	2014年11月
急性陰囊症診療ガイドライン 2014年版	日本泌尿器科学会 編	金原出版	2014年10月
続 違いがわかる! 同種・同効薬	黒山政一、大谷道輝 編	南江堂	2013年6月
第141回 薬事研究会資料	日本医薬情報センター 編	日本医薬情報センター	2014年12月

## 情報提供一覧

### 【平成26年12月1日～12月31日提供】

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせ下さい。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	<a href="http://database.japic.or.jp/">http://database.japic.or.jp/</a>
1. [JAPIC Pharma Report-海外医薬情報]	12月5日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. [添付文書入手一覧] 2014年11月分 (HP定期更新情報掲載)	12月1日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. [JAPIC NEWS] No.369 1月号	12月26日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. [JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報] No.960-963 (旧: 医薬関連情報速報FAXサービス)	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
2. [医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)]	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
3. [JAPIC-Q Plusサービス]	毎月第一水曜日	7. 学会開催情報	月 2 回
4. [外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)] No.3298-3316	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
5. [JAPIC Weekly News] No.480-483	毎週木曜日	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
6. [Regulations View Web版] No.300-301	12月12日・26日	〈iyakuSearchPlus〉 <a href="http://database.japic.or.jp/nw/index">http://database.japic.or.jp/nw/index</a>	
7. [感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)] No.570-573	毎週月曜日	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
8. [PubMed代行検索サービス]	毎月第一・三水曜日	2. 学会演題情報プラス	月 1 回
9. [JAPIC医療用医薬品集2015] 更新情報2014年12月版	12月26日	3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		4. Regulations View DB (要:ID/PW)	月 2 回
		外部機関から提供しているJAPICデータベース	
		〈JIP e-infoStreamから提供〉 <a href="https://e-infostream.com/">https://e-infostream.com/</a>	
		〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <a href="http://jdream3.com/">http://jdream3.com/</a>	
		〈株式会社日本経済新聞デジタルメディア日本テレコンから提供〉 <a href="http://t21.nikkei.co.jp/">http://t21.nikkei.co.jp/</a>	

平成10年1月～平成25年12月承認分までの審査報告書の全文を収録!

# 日本の新薬

全64巻

— 新薬承認審査報告書集 —



B5判

◆最新の5巻を平成26年10月下旬に刊行。全64巻に!!

新薬69品目を追加し、全巻では867品目を掲載。

各巻22,000円(+税)

◆本書は、新薬の承認審査における厚生労働省の『審議結果報告書』および(独)医薬品医療機器総合機構等の『審査報告書』をすべて収録しており、

**新薬開発、薬事・市販後対応、医学・薬学教育に!!**

◆お得で便利なセットでの購入をお勧めします!!

全64巻セット 1,408,000円(+税)のところ、半額の **704,000円(+税)**

追加分5巻セット 110,000円(+税)のところ、半額の **55,000円(+税)**

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行 TEL 0120-181-276  
丸善出版株式会社 発売 TEL 03-3512-3256

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

## Garden

ガーデン

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

### おおおにばす

すいれん科。南米から。一葉の直径が1m以上。人が乗れるほど大きい。葉の縁に切れ込みがあり水がたまらないようになっている。神代植物公園。大きな蕾がついていたが、夜にならな  
いと開かないという。蕾の中には昆虫が閉じ込められていて

● 受粉がおこなわれるという動画がある。 (ks) ●



JAPICホームページより  
<http://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。